



株式会社ワッツ

(2735 東京証券取引所プライム市場)

2022年8月期第2四半期決算と 通期計画の進捗状況について

2022年4月14日 (木)

代表取締役社長 平岡 史生

目次



決算概要

2022年8月期の
2Q連結決算について P2 – P6

事業別

2022年8月期2Qにおける
各事業の状況について P8 – P14

事業計画

2022年8月期業績予想と
各事業の取組みについて P16 – P22

参考資料

ワッツグループについて P24 – P31



(単位：百万円)

| 業績ハイライト | 2021年8月期第2四半期 | | 2022年8月期第2四半期（当期） | | | |
|------------------|---------------|-------|-------------------|-------|--------|--------|
| | | 構成比 | | 構成比 | 前期比 | 計画比 |
| 売上高 | 25,618 | — | 28,506 | — | 111.3% | 97.1% |
| 売上総利益 | 9,881 | 38.6% | 10,914 | 38.3% | 110.4% | — |
| 販売費及び一般管理費 | 8,796 | 34.3% | 10,276 | 36.0% | 116.8% | — |
| EBITDA | 1,244 | 4.9% | 959 | 3.4% | 77.1% | — |
| 営業利益 | 1,085 | 4.2% | 637 | 2.2% | 58.7% | 135.6% |
| 経常利益 | 1,066 | 4.2% | 678 | 2.4% | 63.6% | 161.6% |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 800 | 3.1% | 361 | 1.3% | 45.2% | 168.1% |
| 1株当たり当期純利益（円） | 59.72 | | 26.89 | | — | — |

- ✓ **売上高**は、10月1日付で(株)音通エフ・リテール及び(株)ニッパンを子会社化したことで、前期比**11.3%増**
→P3
- ✓ **営業利益**は、100円ショップ既存店売上高が低調に推移したことに加え、M&Aによるのれん償却費や基幹システム刷新に伴う償却費負担により、前期比**58.7%**
→P5,9
- ✓ **親会社株主に帰属する四半期純利益**は、前年同四半期に連結子会社である(株)ヒルマー・ジャパンの債務免除益が発生していたため、前期比**45.2%**と大幅減
- ✓ 売上高は計画を下回っているものの、人件費や出店・改装に係る設備費用、手数料といった販管費が計画より抑えられたことで、**計画比での営業利益は135.6%**となった



(単位：百万円)

| 事業部門別売上高 | | 2021年8月期第2四半期 | | 2022年8月期第2四半期（当期） | | |
|----------|-------------|---------------|--------|-------------------|---------------|---------------|
| | | | 構成比 | | 構成比 | 前期比 |
| 100円ショップ | 直営 | 22,119 | 86.3% | 25,314 | 88.8% | 114.4% |
| | 卸その他 | 883 | 3.4% | 1,071 | 3.8% | 121.3% |
| | 小計 | 23,003 | 89.8% | 26,385 | 92.6% | 114.7% |
| 海外事業 | 直営 | 145 | 0.6% | 164 | 0.6% | 113.3% |
| | 卸 | 712 | 2.8% | 486 | 1.7% | 68.3% |
| | 小計 | 857 | 3.3% | 650 | 2.3% | 75.9% |
| ファッション雑貨 | ブオーナ・ビータ | 499 | 1.9% | 268 | 0.9% | 53.8% |
| | ソストレーネ・グレーネ | | | | | |
| リアル 他 | | 1,258 | 4.9% | 1,201 | 4.2% | 95.5% |
| 合計 | | 25,618 | 100.0% | 28,506 | 100.0% | 111.3% |

※ ソストレーネ・グレーネは、2021年3月末をもって事業撤退しております

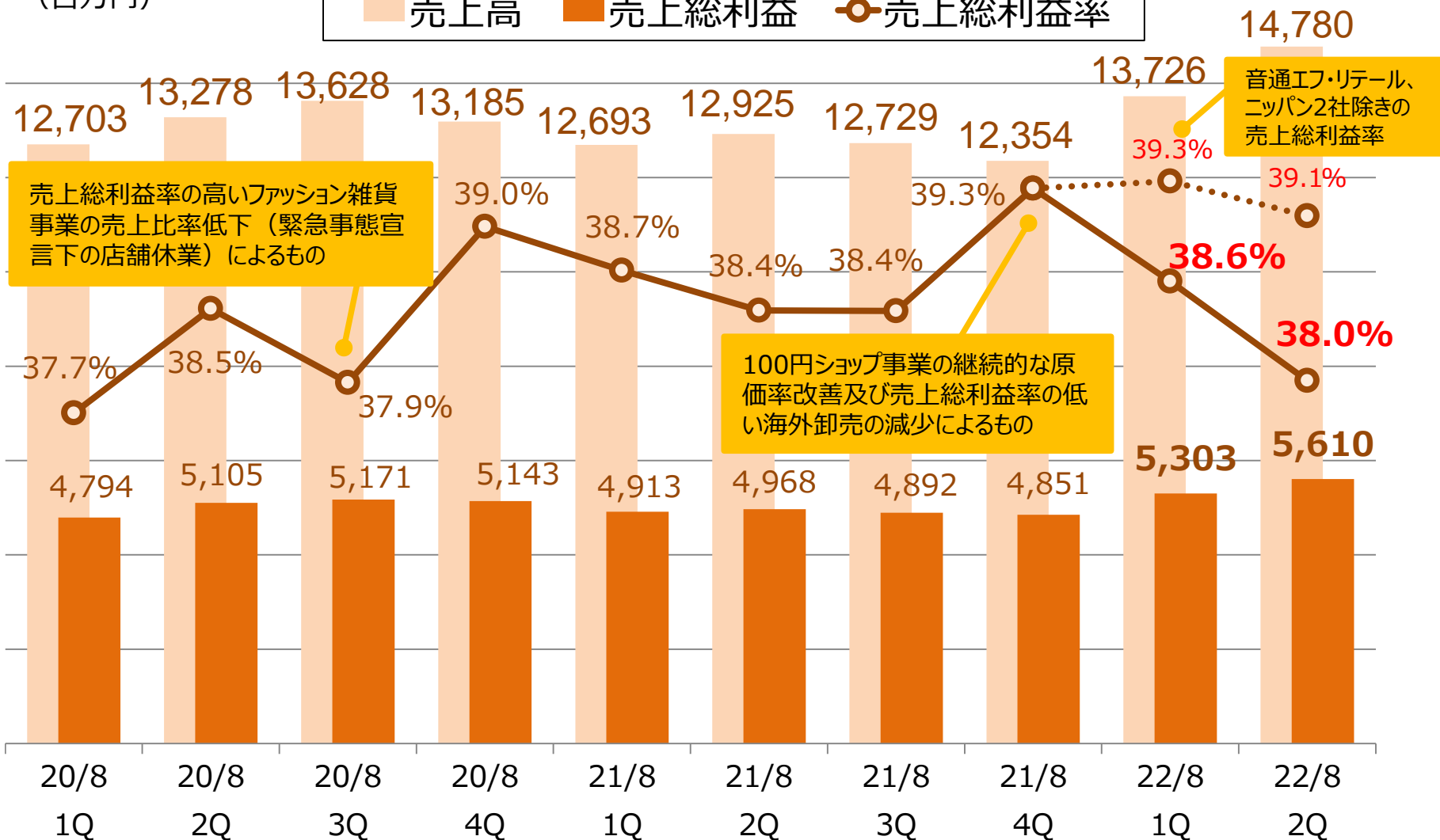
- ✓ 100円ショップ事業を営む(株)音通エフ・リテール、(株)ニッパンを取得したことで、直営、卸その他はそれぞれ売上高を大きく伸ばし、国内100円ショップ事業の連結売上高に占めるシェアは2.8%増加

四半期別売上総利益率の推移



(百万円)

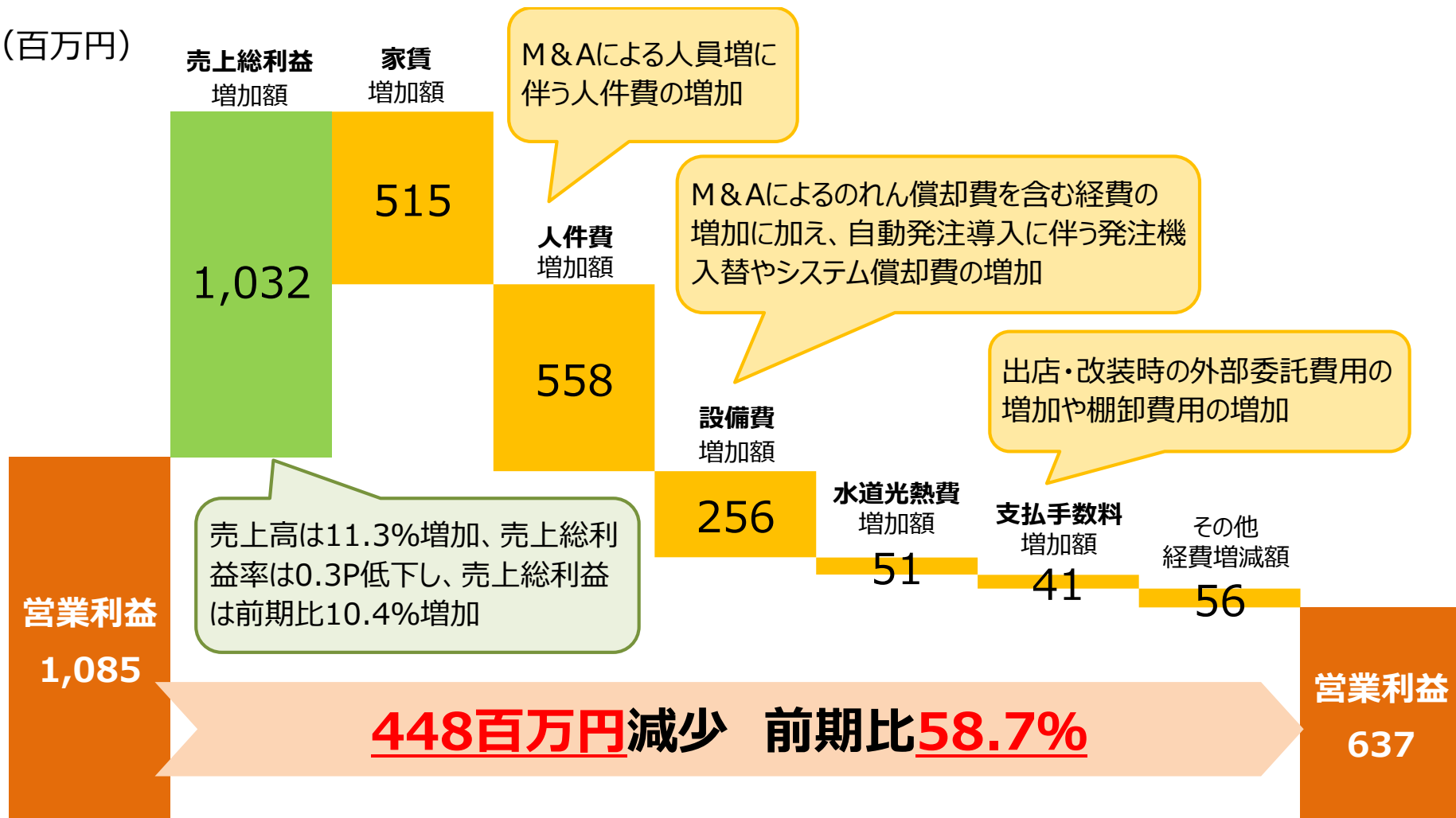
売上高 売上総利益 売上総利益率



営業利益の増減要因



(百万円)



前期

当期

(単位：百万円)

| 連結 貸借対照表 | 2021年8月期 | | 2022年8月期 (当期) | |
|-------------|----------|-------|------------------|--------|
| | | 増減率 | | 増減率 |
| 現金及び預金 | 6,169 | 6.4%減 | 6,524 | 5.8%増 |
| 商品及び製品 | 7,431 | 4.5%増 | 8,766 | 18.0%増 |
| その他の流動資産 | 2,448 | 9.6%減 | 2,532 | 3.4%増 |
| 有形固定資産 | 1,552 | 3.5%減 | 2,097 | 35.1%増 |
| その他の固定資産 | 3,739 | 6.2%増 | 4,843 | 29.5%増 |
| 総資産 | 21,340 | 0.9%減 | 24,763 | 16.0%増 |
| 負債 | 10,118 | 8.5%減 | 13,342 | 31.9%増 |
| 純資産 | 11,222 | 7.1%増 | 11,421 | 1.8%増 |

- ✓ 自己資本比率は46.1%、前期末から6.5ポイント減少
- ✓ その他の固定資産は、(株)音通エフ・リーテル取得を主因に、のれんが592百万円、差入保証金が464百万円、それぞれ増加
- ✓ 負債は、M&Aにより借入金を引き継いだことを主因に、長期借入金が2,158百万円増加

(単位：百万円)

| 連結 キャッシュ・フロー | 2021年8月期第2四半期 | | 2022年8月期第2四半期 (当期) | |
|------------------|---------------|--------|-----------------------|--------|
| | | 増減額 | | 増減額 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,802 | +959 | 915 | △886 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △409 | △92 | △570 | △160 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △392 | △356 | 0 | 393 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △4 | △19 | 9 | 14 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 7,586 | +1,007 | 6,524 | △1,061 |
| フリーキャッシュ・フロー | 1,392 | +867 | 345 | △1,047 |

- ✓ 営業活動によるC/Fは、前第2四半期連結会計年度末日が休日であったこと等により仕入債務が1,047百万円減少
- ✓ 投資活動によるC/Fは、M&Aによる契約元切替を主因として、敷金及び保証金の差入による支出451百万円増加

目次



決算概要

2022年8月期2Qの
連結決算について

P2 – P6

事業別

2022年8月期2Qにおける
各事業の状況について

P8 – P14

事業計画

2022年8月期業績予想と
各事業の取組みについて

P16 – P22







参考資料

ワッツグループについて



P24 – P31





国内100円ショップ事業

| | | |
|--|-------------|--|
|   | 出退店の状況 | 通期計画の出店230店、退店86店に対して 97店出店 、 27店退店 し、期末店舗数は 1,579店 →P10 |
|   | Wattsブランド店舗 | 出店・改装により107店増加して 932店 。100円ショップ全店に占める割合は59.0% |
|   | M&A | 2021年10月1日付で、100円ショップ事業を営む音通エフ・リテール社を連結子会社化。早期の統合完了を目指す →P19 |

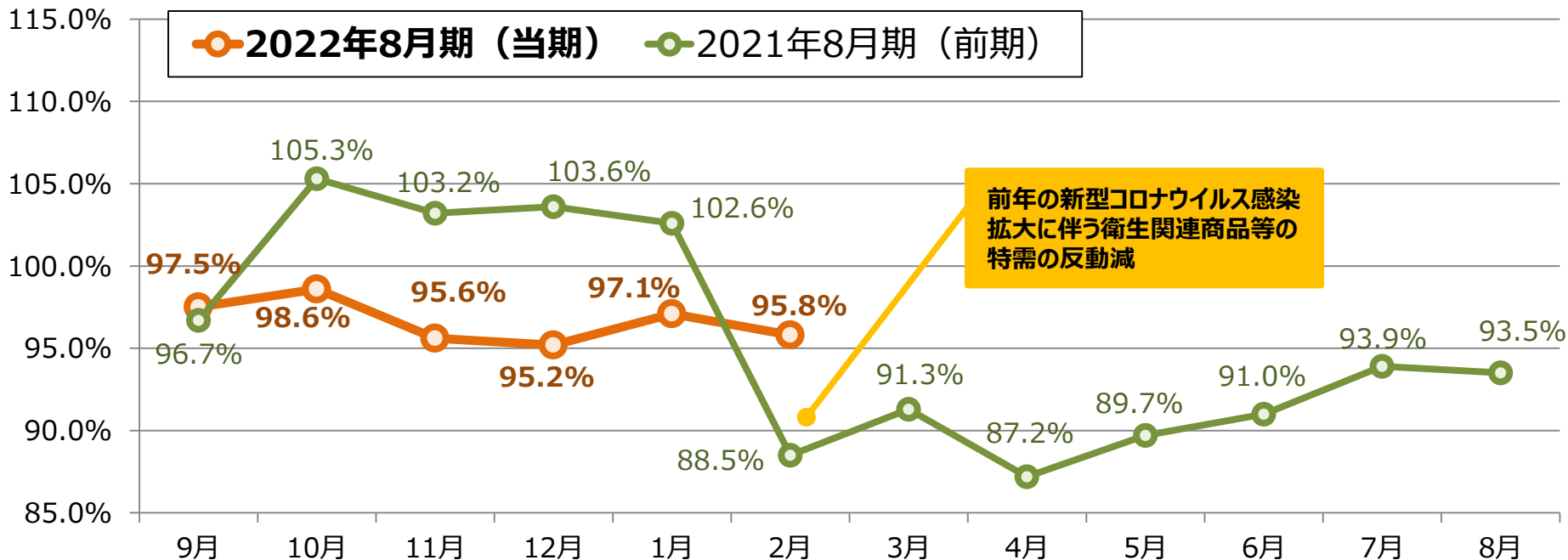
海外事業

| | | |
|--|-------|--|
|   | 海外店舗数 | 当社商品を取り扱う店舗は、当社グループ内で 58店 （11店舗減）、現地パートナーの店舗を合わせると約100店 →P12 |
|--|-------|--|

国内その他事業

| | | |
|--|-----------------------|--|
|  | Buona Vita (ブオーナ・ビータ) | 心地よい生活を提案する雑貨店。当社100円ショップ等への委託販売型の展開を進める。店舗数は 22店 →P13 |
|  | リアル | 地域密着型のディスカウントショップ。2月末現在 6店 展開、100円ショップ事業とのシナジー効果を創出していく →P14 |

100円ショップ事業の状況① ～既存店売上高対前年同月比の推移～



前年の新型コロナウイルス感染拡大に伴う衛生関連商品等の特需の反動減

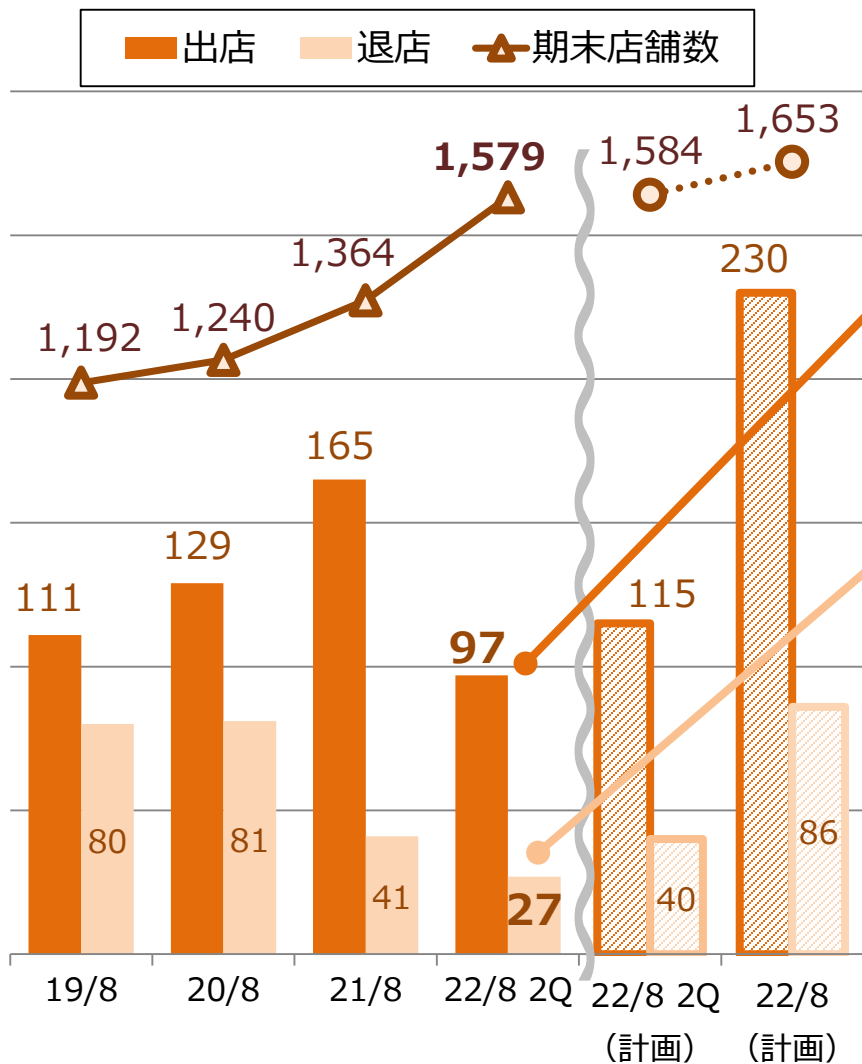
| 既存店増減率 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 |
|------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 前期 (A) | -3.3% | +5.3% | +3.2% | +3.6% | +2.6% |
| 当期 (B) | -2.5% | -1.4% | -4.4% | -4.8% | -2.9% |
| A+B | -5.8% | +3.9% | -1.2% | -1.2% | -0.3% |

- ✓ 当上期の対前期比は、売上高96.6%、客数95.5%、客単価100.1%
- ✓ Wattsブランド店舗売上高は対前期比98.2%

※ 前期9月～1月は巣ごもり需要等の影響が大きかったため、反動減の影響を除いた伸び率として、前期と当期の増減率の和を掲載

100円ショップ事業の状況②

～出退店計画数と店舗数実績～



出退店計画と実績

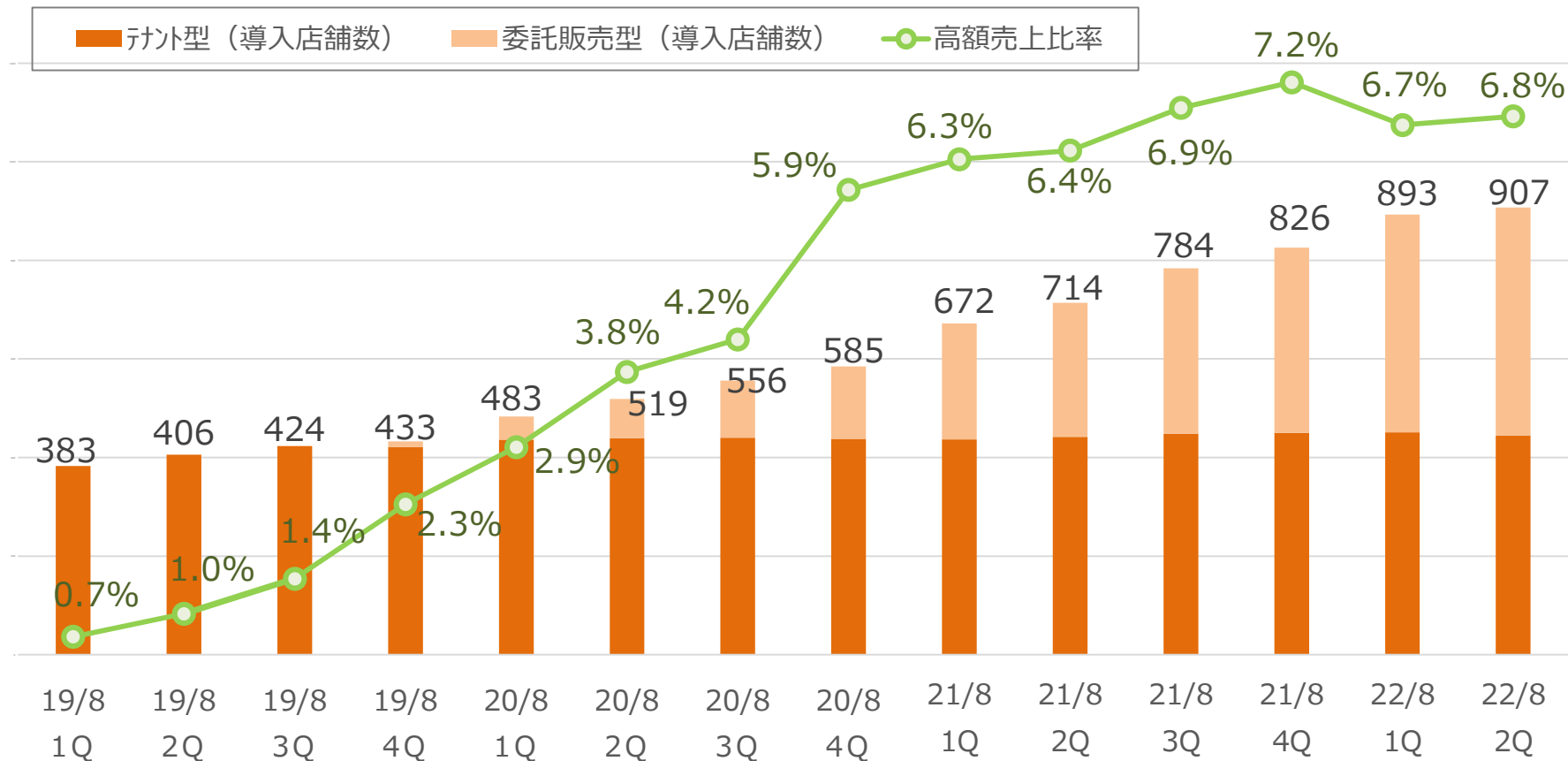
第2四半期
出店計画
115店
→ **97店**出店
(通期進捗率42.2%)

第2四半期
退店計画
40店
→ **27店**退店
(通期進捗率31.4%)

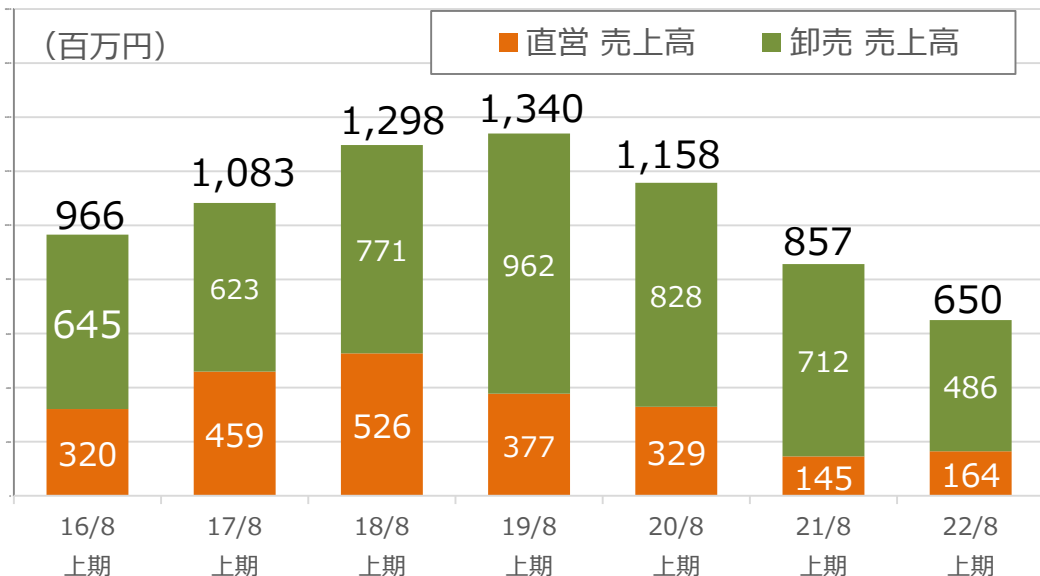
- ✓ 出店ペースは計画を下回っているものの、退店数も少なく済んでおり、純増計画220店に対し、**215店純増**（純増数には、2021年10月1日付にて取得した(株)音通エフ・リテールの145店舗を含む）
- ✓ 全1,579店の内、Wattsブランド店舗は、932店（107店純増）

100円ショップ事業の状況③

～高額商品導入店舗数と売上シェアの推移～



- ✓ テナント型への導入は概ね完了し、委託販売型への導入も引き続き進めていく
- ✓ 取扱いアイテム数は2,000を基準として商品の見直しを行い、販売実績の悪い商品と新商品を入替え、売場の鮮度を保つ

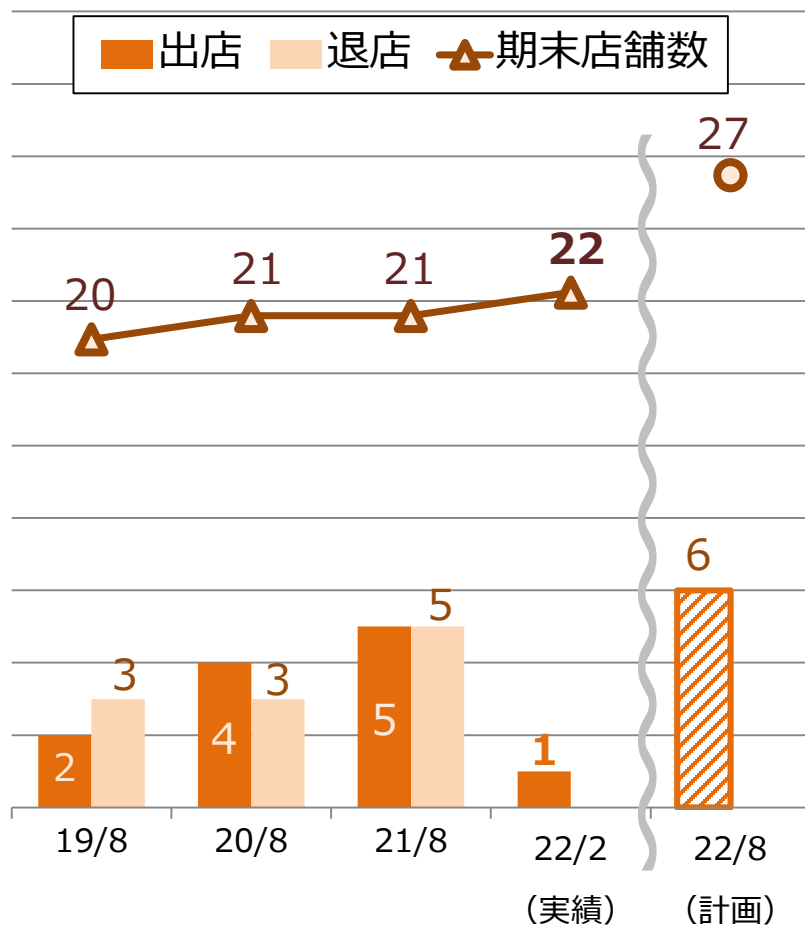


| 国名 | 出店形態 | 出店 | 退店 | 店舗数 (22/2) |
|-----------|------|----------|-----------|------------|
| タイ | FC | — | 1 | 40 |
| 中国 | FC | — | — | 4 |
| マレーシア | FC | — | 2 | — |
| ベトナム | FC | — | 3 | — |
| ペルー | 直営 | — | 5 | 14 |
| 合計 | | — | 11 | 58 |



KOMONOYA サンフェリペ店 (ペルー)

- ✓ タイは、40店舗展開（1店舗減）
「Watts」屋号の店舗も新店、改装により11店舗展開
- ✓ ペルーは、新型コロナウイルス感染症の影響で不採算店舗の閉鎖を進めた結果、足許黒字確保



ブォーナ・ビィータ グランエミオ所沢店 (埼玉県)

- ✓ 2022年2月末現在、**22店舗**。当社100円ショップへの委託販売型を5店舗展開
- ✓ マスクの売れ行きが好調に推移。既存店売上高の対前期比は12月以降100%を超えており回復傾向、当上期は96.4%



- ✓ 同社の強みである商品調達力を活かして、お買い得な商品を幅広く展開
- ✓ 当社100円ショップとのコラボ店舗を運営、100円ショップ事業とのシナジー効果創出を図る
- ✓ 2022年2月末時点で**6店舗**（テナント型5店舗、委託型1店舗）



- ✓ **おうち雑貨店**
「Tokino:ne（ときのね）」、コンセプトは『「自分時間の楽しみ方」を形に』
- ✓ 2021年3月、兵庫県神戸市内に1号店をオープン
- ✓ 朝・昼・夕・夜をゾーンで分け、各時間帯で必要な商品を集めており、お客様それぞれのルーティーンをイメージしながら楽しくショッピングができるように工夫

目次



決算概要

2022年8月期2Qの
連結決算について

P2 – P6

事業別

2022年8月期2Qにおける
各事業の状況について

P8 – P14

事業計画

**2022年8月期業績予想と
各事業の取組みについて**

P16 – P22

参考資料

ワッツグループについて

P24 – P31

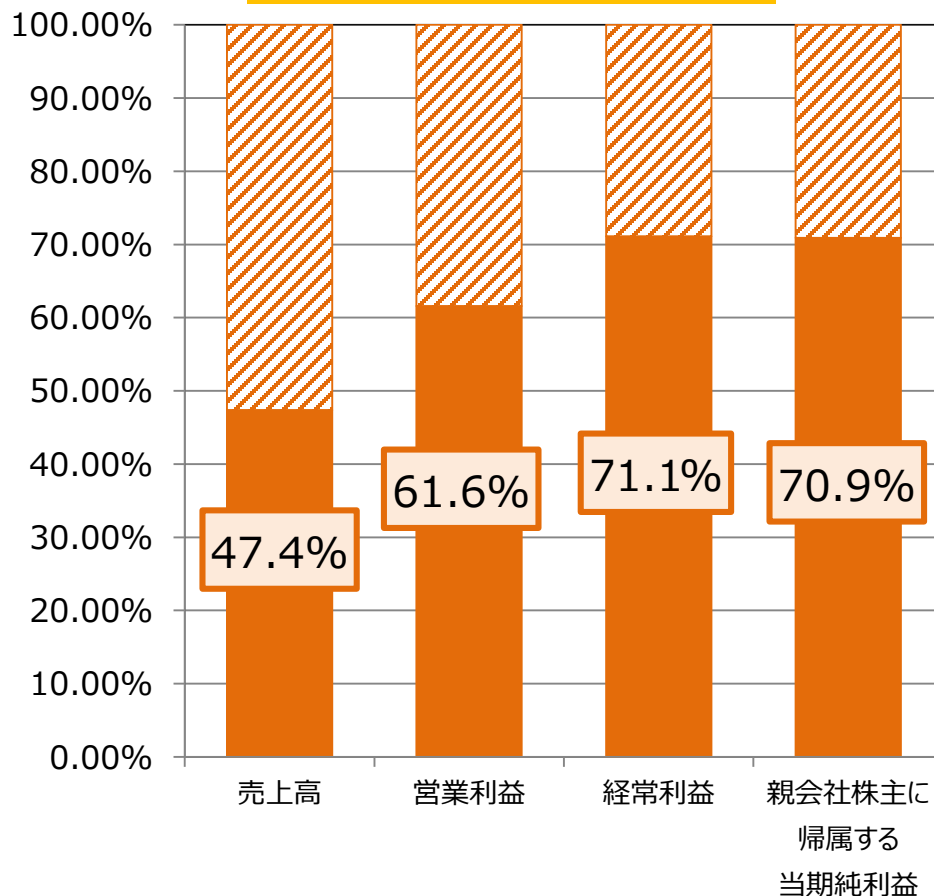


(単位：百万円)

| 業績予想 | 2022年8月期（予想） | |
|---------------------|--------------|------------|
| | 構成比 | 前期比 |
| 売上高 | 60,200 | — 118.7% |
| 営業利益 | 1,035 | 1.7% 62.0% |
| 経常利益 | 955 | 1.6% 60.2% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 510 | 0.8% 52.8% |
| 1株当たり当期純利益（円） | 38.07 | — |

- ✓ 売上高は計画を下回って推移している一方、100円ショップの商品原価率の改善が順調に進んでいることに加え、人件費や出店・改装関連費用は想定より抑えられていることから、足許、利益は計画を上回って推移している
- ✓ 通期の業績予想は据え置くが、今後、修正が必要と判断した場合、速やかに情報開示を行う

対通期予想進捗率





いい商品を安く 売る仕組みづくり の追求を継続

- ✓ ローコスト出退店
- ✓ ローコスト・オペレーション
- ✓ お買い得な実生活雑貨
- ✓ POSシステムの活用と自動発注化への対応強化

100円ショップ事業

他業態とのミックス 店舗の開発・展開

- ✓ 「Watts」「Watts with」出店モデルの一層の深化
- ✓ その他業態を活用したグループシナジーの創出
- ✓ 更なる成長のためのM&Aも検討

進出国ごとの ビジネスモデル確立

- ✓ ウィズコロナ環境下での既存事業の一層の伸長
- ✓ 海外パートナーとの共同事業の構築
- ✓ 既存の経営資源を活かした異業種とのコラボ

海外事業



その他業態

業容の拡大と 収益源の多角化 を図る

- ✓ グループECチャネルの抜本的強化
- ✓ M&Aを含めた、新たな可能性の捕捉



【中期3カ年計画（2022年8月期～2024年8月期）】

（単位：百万円）

| | 2022年8月期（予想） | | | 2024年8月期（予想） | |
|----------------------|--------------|------|--|--------------|------|
| | | 構成比 | | | 構成比 |
| 売上高 | 60,200 | — | | 70,000 | — |
| EBITDA | 1,802 | 3.0% | | 3,100 | 4.4% |
| 営業利益 | 1,035 | 1.7% | | 2,100 | 3.0% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 510 | 0.8% | | 1,100 | 1.6% |
| 100円ショップ事業 売上高シェア | — | | | 86.8% | |

- ✓ 事業年度末（8月末）から3か月以内に、中計に対する進捗状況を開示いたします



株式会社音通エフ・リテールの取得

FLET'S
100 YEN SHOP

百圓領事館



- ✓ 2021年10月1日付で、100円ショップ「FLET'S（フレッツ）」「百圓領事館」等を145店舗運営する株式会社音通エフ・リテールを子会社化
- ✓ 商品マスタの統合、雑貨単価の統一が完了。
仕入量の増加に伴う原価率低減により収益性アップにつなげる
- ✓ 管理業務の引継ぎは概ね完了。人事体系の統合の目途が立つ
- ✓ 一部店舗でフレッツ店舗からワッツ店舗へのリニューアルを実施。
ノウハウの共有を行い、2022年8月期中を目途にオペレーションの統合を行う
- ✓ 今後、単独店の出店モデル構築及び強化も進める



高額商品の取扱い



- ✓ 高額商品（200円～1,000円）の取扱いにより、商品の充実・売り場の活性化を図る
- ✓ 取扱店舗を委託販売型店舗にも積極的に拡大し、グループ全体の粗利率改善へと繋げる
- ✓ 2022年2月末現在2,048アイテム、今後は取扱い商品を精査し、2,000アイテムを維持していく

コラボ出店

- ✓ ディスカウントショップ「リアル」やファッション雑貨事業「Buona Vita」等とのコラボレーション店舗を展開し、グループ事業間でのシナジー効果創出に取り組む





セルフPOSレジの導入



- ✓ キャッシュレス専用の**セルフPOSレジ**を、2022年8月期に**100店舗導入予定**。2022年2月末現在、21店舗に導入
- ✓ 精算業務の効率化・省力化により生産性を向上させ、削減した人的リソースをお客様満足度向上へ
- ✓ 会計の待ち時間を減らし、ピーク時の列解消へ（機会損失の減少）
- ✓ 非対面によるお客様・従業員双方の新型コロナウイルスの感染防止対策に

POSデータの活用



- ✓ 滞留商品を削減し、売れ筋商品や新規商品に入れ替えることで売場の商品鮮度を高める
- ✓ POSデータを活用した販売分析を基に、立地や客層に合わせた店舗モデルを確立していく
- ✓ 自動発注システムをテナント型を中心に300店舗超へ導入予定。2022年2月末現在、約100店舗に導入済み



ECサイトリニューアル

ONLINE STORE

POINT ① **10,000** 点以上の品揃え

POINT ② **色柄** も選べる

POINT ③ **1** 個からのご注文も

POINT ④ **24** 時間 **365** 日可能

∴ 手づくりを楽しもう ∴

手芸・クラフト・ハンドメイド
Craft Item

- ✓ 2021年9月1日、ワッツオンラインショップをリニューアルオープン
- ✓ 品揃えは、大幅アップし**1万アイテム以上**
- ✓ 1個からの注文も可能
- ✓ 100円ショップ事業だけでなく、ワッツグループのオンラインサイトとして活用していく

SNSの活用

twitter



Instagram



・ワッツ公式YouTubeチャンネル



- ✓ 当社認知度向上のツールとして活用



KoMoNoYA
OSAKA JAPAN



【海外事業】

- 商品供給先ごとに適した商品戦略、商品提案
- 既存店舗の売上向上、客数・客単価が向上する施策を展開
- 可処分所得・販売価格・輸入依存度等を軸に新規市場を選定、進出

Buona Vita
ブォーナ・ビィータ

【Buona Vita】

- 委託販売型の基本パッケージ確立
- 当社100円ショップとのコラボ店 6店舗出店計画
- 「おうち時間の充実」、「癒し・リラックス」などの新しい生活スタイルに向けた商品の提案
- 店頭商品のスピーディーな入替、在庫のコントロール

スーパーディスカウント

リアル

【リアル】

- 新店1店舗計画
- 既存店前年比100.0%
- 100円ショップ事業とシナジー効果が見込める体制の構築

目次



決算概要

2022年8月期2Qの
連結決算について

P2 – P6

事業別

2022年8月期2Qにおける
各事業の状況について

P8 – P14

事業計画

2022年8月期業績予想と
各事業の取組みについて

P16 – P22

参考資料

ワッツグループについて

P24 – P31



国内100円ショップ事業



FLET'S
100 YEN SHOP



海外事業

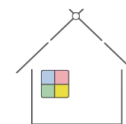


KOMONOYA
OSAKA JAPAN



小物家园
KOMONOKAEN

国内その他業態



Tokino:ne

スーパーディスカウント

リアル



その他事業の概要



心地よい生活を提案する
雑貨店「フオーナ・ビータ」
2022年2月末現在、
22店舗。



時間をテーマにしたおうち雑
貨店「Tokino:ne」、
2021年3月に1号店オープン



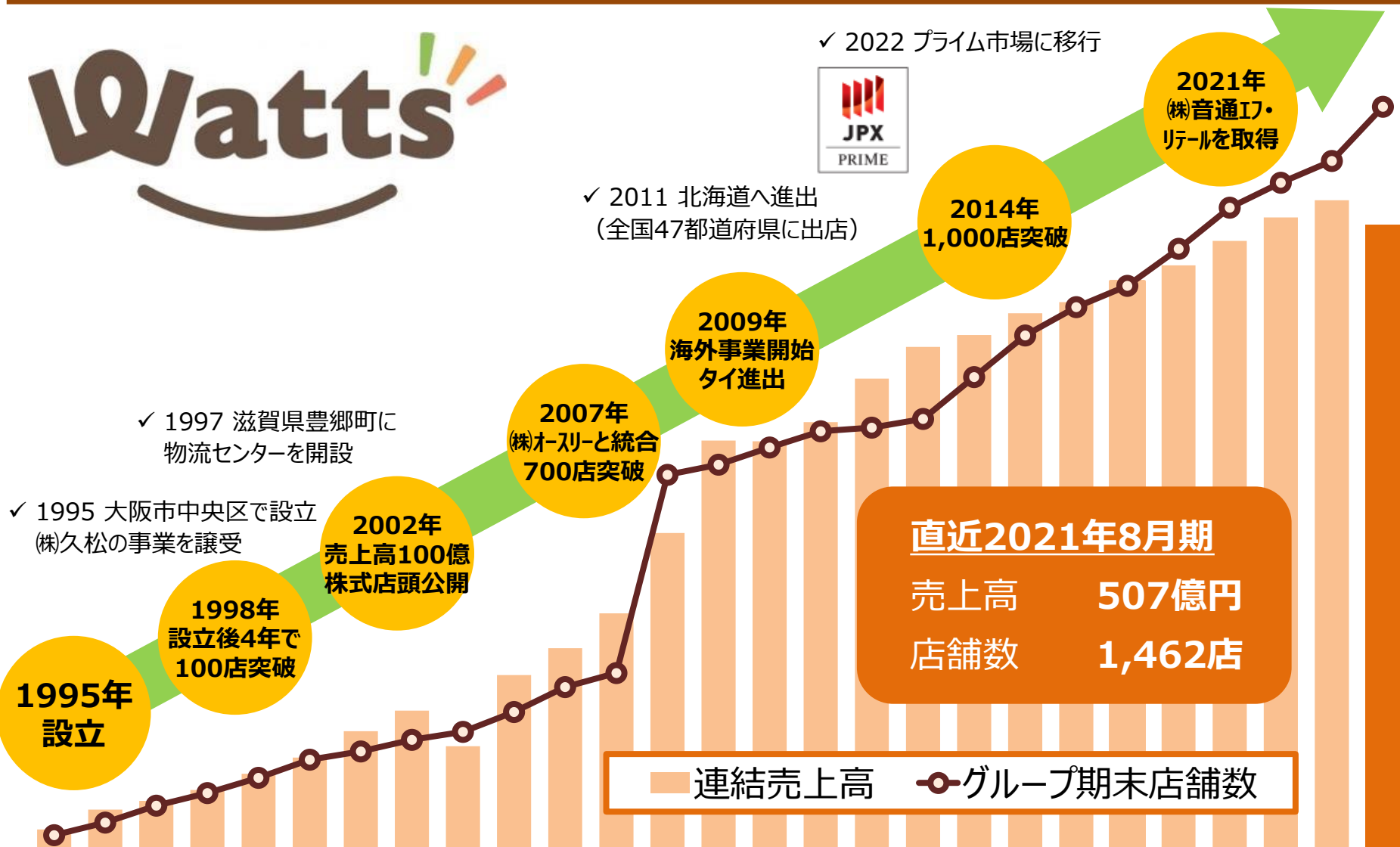
100円ショップと食品スーパーの
コラボ店舗



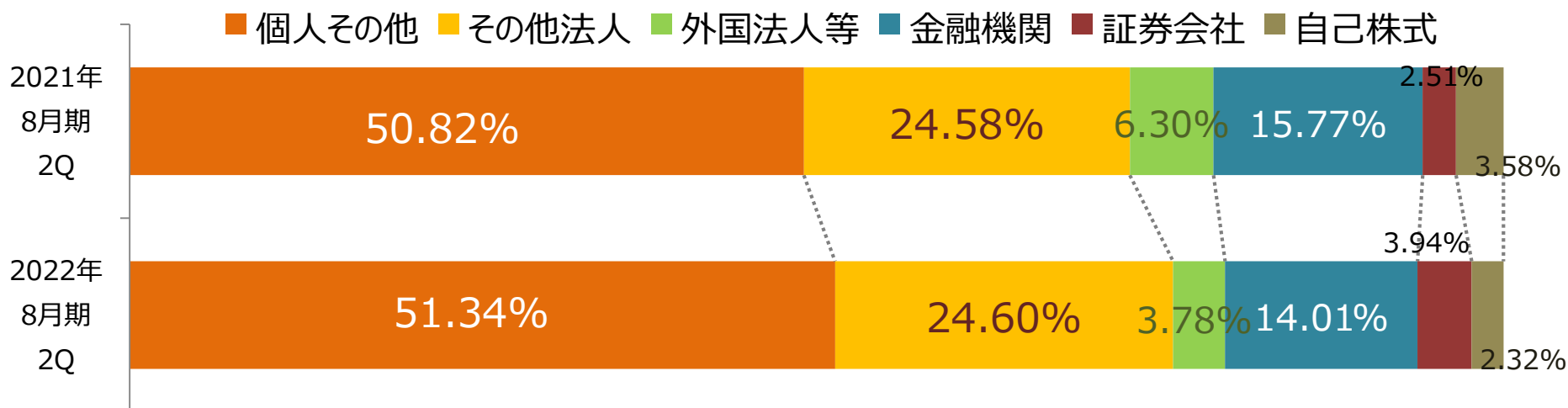
地域密着の小型
ディスカウントショップ。
2022年2月末現
在、6店舗



| | |
|----------|---|
| 設立 | 1995年2月22日（現在は、第28期） |
| 社名の由来 | おもろいことを「ワッ」とやろう！ |
| 上場市場 | 東京証券取引所 市場第一部 (証券コード： 2735) |
| 資本金 | 4億4,029万円 |
| 本社所在地 | 大阪市中央区城見一丁目4番70号 住友生命OBPプラザビル5階 |
| 主な業務 | 日用品・雑貨の卸小売業 (主に 100円ショップの運営) |
| グループ従業員数 | 3,569名（22/2/28現在） ※パート・アルバイトを含む |
| グループ店舗数 | 1,667店（22/2/28現在） ※その他店舗を含む |



株主構成



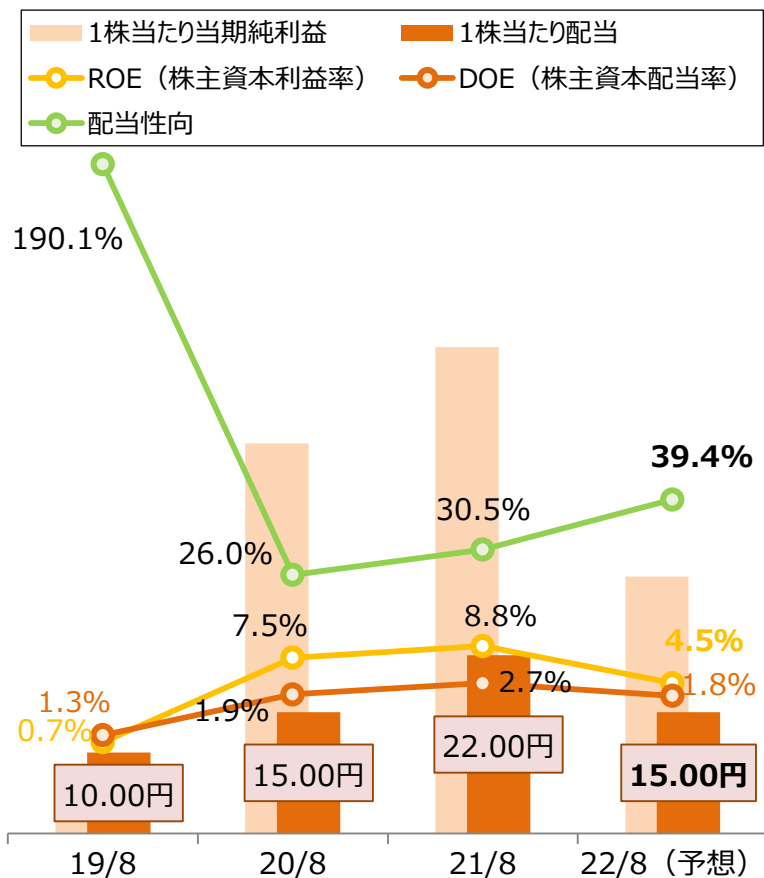
| | 2020年8月期 第2四半期 | 2021年8月期 第2四半期 | 2022年8月期 第2四半期 | 前年 同期末比 |
|---------|-------------------|-------------------|-------------------|---------------------|
| 発行済株式総数 | 13,958,800株 | 13,958,800株 | 13,898,800株 | △60,000 |
| 株主数 | 16,029名 | 17,710名 | 17,572名 | △138名 |
| 所有比率 | | | | |
| 個人その他 | 47.33% | 50.82% | 51.34% | +0.52% _株 |
| その他法人 | 24.58% | 24.58% | 24.60% | +0.02% _株 |
| 外国法人等 | 8.76% | 6.30% | 3.78% | △2.52% _株 |
| 金融機関 | 14.39% | 15.77% | 14.01% | △1.76% _株 |
| 証券会社 | 1.32% | 2.51% | 3.94% | +1.43% _株 |
| 自己株式 | 3.58% | 3.58% | 2.32% | △1.26% _株 |

- ✓ 自己株式の消却により、発行済株式総数は60,000株減少
- ✓ 譲渡制限付株式報酬として、ワッツグループ役員・従業員に自己株式を割当てたため、自己株式所有比率は1.26%_株減少

(注) 小数点第3位以下を切り捨てており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります。



ワッツは、「安定した配当を継続して行う」ことが、株主の皆様への利益還元であると考えています。



| | 2019年 8月期 | 2020年 8月期 | 2021年 8月期 | 2022年 8月期 (予想) |
|---------------|--------------|--------------|--------------|----------------------|
| 1株当たり当期純利益 | 5.26円 | 57.80円 | 72.09円 | 38.07円 |
| 1株当たり配当金 | 10.00円 | 15.00円 | 22.00円 | 15.00円 |
| 配当性向 | 190.1% | 26.0% | 30.5% | 39.4% |
| 配当利回り | 1.6% | 1.6% | 2.5% | 2.1% |
| ROE (株主資本利益率) | 0.7% | 7.5% | 8.9% | 4.5% |
| DOE (株主資本配当率) | 1.3% | 1.9% | 2.7% | 1.8% |

※各事業年度の配当利回りは決算基準日の株価で算出
(2022年8月期配当利回りは2月28日の株価で算出)

株主優待制度



| 保有株式数 | 優待内容 |
|--------|------------------------------------|
| 200株以上 | 当社オンラインショップでご利用可能な株主優待券 税込み2,200円分 |

- ✓ 株主優待の商品を自由に選びたいという株主様の声にお応えし、2021年9月1日よりリニューアルしたオンラインショップでご利用可能な株主優待券を贈呈いたします

※2021年8月期の優待内容です

※株主優待発送の送料は当社にて負担いたします

※株主優待券は、当社オンラインサイトのみでご利用可能です。店舗ではご利用いただけません



本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行っていただきますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

説明内容に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

お問い合わせ先：

株式会社ワッツ 常務取締役経営企画室長 森 秀人

e-mail：ir@watts-jp.com

TEL：[06-4792-3236](tel:06-4792-3236)